

廃棄物処理法の改正について

島根県環境生活部廃棄物対策課

平成17年4月1日から、産業廃棄物を運搬する車両には、表示と書面備付が義務づけられます。

○表示の義務について

(1) 対象となる車両

産業廃棄物を運搬する車両(排出事業者等が自ら運搬する車両を含みます。)

(2) 表示の内容

産業廃棄物を収集又は運搬する車両には、次のとおり、車体にみやすく表示することが義務づけられます。

	排出事業者が自己運搬する場合	産業廃棄物収集運搬業者
表示の位置	車体の両側面	
表示の色	識別しやすい色で表示すること	
表示の大きさ (かっこ内は文字の大きさ)	産業廃棄物運搬車であること (140ポイント以上) 氏名又は名称(90ポイント以上)	産業廃棄物運搬車であること (140ポイント以上) 氏名又は名称(90ポイント以上) 許可番号(下6桁 90ポイント以上)

産業廃棄物運搬車の表示例

(収集運搬業の許可業者)

4.9cm以上	産業廃棄物運搬車 島根県商事有限会社 135102	産業廃棄物収集運搬車又は産業廃棄物運搬車と記載 140ポイント以上の文字
3.2cm以上		有限会社、株式会社は(有)、(株)と略記可能 90ポイント以上の文字
3.2cm以上		固有番号(許可番号の下6桁)を記載 90ポイント以上の文字

(排出事業者の自己運搬)

4.9cm以上	産業廃棄物運搬車 島根県商事有限会社	産業廃棄物収集運搬車又は産業廃棄物運搬車と記載 140ポイント以上の文字
3.2cm以上		有限会社、株式会社は(有)、(株)と略記可能 90ポイント以上の文字

○書面の備付けの義務について

産業廃棄物を収集又は運搬する場合は、下表の事項を記載した書面を車両に備え付けることが義務づけられます。(次頁の例を参考にしてください。)

	排出事業者の自己運搬	産業廃棄物収集運搬業者
備え付ける書面の記載事項	事業者の氏名・名称、住所 運搬する産業廃棄物の種類及び量 運搬する産業廃棄物を積載した日並びに積載した事業場の名称、所在地及び連絡先 運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先	産業廃棄物収集運搬業許可証の写し 当該運搬のマニフェスト

備え付ける書面の例

・排出事業者の自己運搬

積載年月日	年 月 日	整理番号	産業廃棄物の種類	数量
事業者		産業廃棄物の種類		
氏名又は名称		数量		
住所				
積載事業場	運搬先の事業場			
名称	名称			
所在地	所在地			
連絡先	連絡先			
(備考)				

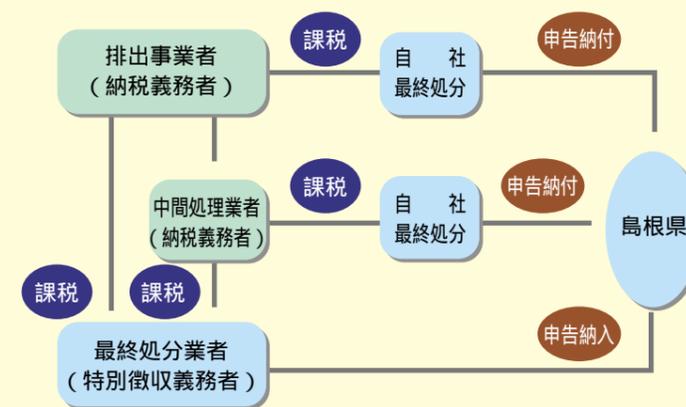
産業廃棄物収集運搬業者は、許可証の写しと、当該運搬のマニフェストを備え付けることになります。
船舶による運搬についても、表示項目・備付ける書面が追加されます。

平成16年5月18日から、廃棄物に関する罰則が強化されています。

	改正前	改正後
産業廃棄物の無許可受託	3年以下の懲役、300万円以下の罰金 又はこれらの併科	5年以下の懲役、1千万円以下の罰金 又はこれらの併科
(法人の両罰規定)	300万円以下の罰金	1千万円以下の罰金
廃棄物の不法焼却 未遂も罰せられます。	3年以下の懲役、300万円以下の罰金 又はこれらの併科	5年以下の懲役、1千万円以下の罰金 又はこれらの併科
(法人の両罰規定)	300万円以下の罰金	1億円以下の罰金
不法投棄又は不法焼却の目的での 廃棄物の収集運搬【新設】		3年以下の懲役、300万円以下の罰金 又はこれらの併科
指定有害廃棄物(硫酸ピッチ)の 違法な保管、収集運搬又は処分【新設】		5年以下の懲役、1千万円以下の罰金 又はこれらの併科

平成17年1月1日時点で施行されているものです。
は、平成16年12月1日施行です。

島根県は、産業廃棄物の減量や適正な処理を推進するため 産業廃棄物減量税を平成17年4月1日から導入します。



納める額
最終処分場に搬入された産業廃棄物の、
重量1トンあたり1,000円を乗じた額
(ただしH17年度は333円、H18年度
は666円)
税収の用途
目的に添って、産業廃棄物の発生抑制、
再利用、再生利用を促進し最終処分す
る産業廃棄物を削減するため、再資源
化の促進、環境教育、処分場建設基金な
どに使用します。

お問い合わせ先

島根県環境生活部廃棄物対策課指導グループ Tel 0852-22-5261

(産業廃棄物減量税については、島根県総務部税務課新税対策室)Tel 0852-22-6177

平成16年度 大臣顕彰一覧

安全優良職長厚生労働大臣顕彰

氏名	会社名
小川 圭二	大福工業(株)

平成15年度施工 島根県優良建設工事知事表彰

部門	工事名	施工業者	現場代理人
港湾空港	安来港 統合補助工事	今岡工業(株)	神谷 和宏
都市計画	大社日御碕線 大社町公共下水道 浜山雨水梁整備工事(第4工区)	(株)中筋組	堀江 修二
建築	フラワーパーク整備(建築その1)工事	今岡工業(株)	福代 潔
	フラワーパーク整備(建築その2)工事	出雲土建(株)	山根 昭一
	県立浜山体育館建設(電気設備)工事	内村電機工務店 未登電工 特別共同企業体	三谷 憲次

島根県優秀建設現場従事者知事顕彰

氏名	会社名
角 隆二	(有)山下組
飯濱 健	(株)トガノ建設

平成15年度施工 優良農林土木工事所長表彰一覧表

【出雲農林振興センター】

部門	工事名	施工業者	現場代理人
土地改良	平成15年度 求院地区 経営体育成基盤整備事業 区画整理(10)工事	ヒカワ工業(株)	角 嘉夫
	平成15年度 稗原地区 かんがい排水事業(一般型) 第2ブロック用水管路(その6)工事	(有)森山組	福田 佳広
	平成15年度 千家地区 経営体育成基盤整備事業 暗渠排水工事	(有)藤木組	青木 和正
	平成15年度 求院地区 経営体育成基盤整備事業 区画整理(7)工事	(有)協立工業	三島 昇
	平成15年度 求院地区 経営体育成基盤整備事業 区画整理(8)工事	(有)飯塚組	梶谷 敏信
農林地防災	平成15年度 地すべり防止事業(万田西)	(有)山根建設	荒木 隆司
	平成15年度 斐川地区(下畑第一工区) 地すべり対策事業 抑止工事	出雲グリーン(株)	伊藤 純一
森林土木	平成15年度 自然環境保全治山事業(立久恵)	今岡工業(株)	清水 亮
	平成14年度 林道開設事業(森林管理道) 宮本聖谷線第2工区工事	(株)山下工務所	森山 久都
	平成15年度 林地荒廃防止事業(小田漁港)	山本工業(株)	藤田 光洋

平成15年度施工 優良建設工事表彰一覧表

◇ 所長表彰 ◇

【出雲土木建築事務所】

部門	工事名	施工業者	現場代理人
道路	田儀山中大田線 奥田儀工区交B(改良)工事(第1期)	(株)中筋組	安食 喜裕
	斐川一畑大社線(瀬橋)交A(橋梁補修)工事(第1期)	(株)山本工務店	郷原 耕造
	西出雲停車場線 知井宮工区新世紀道路(景観対策)工事	山陰建設工業(株)	福田 雄彦
河川	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第5工区(井原橋取付道路工)	(株)トガノ建設	飯濱 健
	赤川 河川緊急整備工事(ゼロ県債)	ヒロシ(株)	西尾 光正
	平田船川 床上浸水対策特別緊急工事 横撫橋取付道路工	昭和開発工業(株)	原 敏行
砂防	岩ノ奥谷川 通常砂防工事(第3期)	今岡工業(株)	吉田 真
都市計画	浜山公園 都市公園事業植栽(3工区)工事	出雲土建(株)	横野浩二郎
建築	島根県営住宅(出雲市今市団地)建設(建築その1)工事	(株)浜村建設	持田 正司

平成15年度施工 優良建設工事表彰一覧表

◇ 現場代理人表彰 ◇

【出雲土木建築事務所】

部門	工事名	施工業者	現場代理人
道路	大社日御碕線 中山工区 新世紀道路(改良)赤石トンネル工事	中筋組・大福工業 特別共同企業体	原 辰平
	三刀屋佐田線 反辺工区 交A(改良)工事(第1期)落石対策)	今岡工業(株)	藤原 武
	国道184号 道路災害防除工事	今岡工業(株)	田部 壽志
河川	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第1工区(永田橋下部工(ゼロ国))	(株)中筋組	北村 広
	境川 河川緊急整備工事(その2)	(有)山下組	吾郷 勲
	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第2工区(古井手川樋門・築堤工)	(株)トガノ建設	岡田 直行
	平田船川 床上浸水対策特別緊急工事護岸工(ゼロ国)	(有)山下組	角 茂明
	古内藤川 河川災害復旧工事	(有)金築組	田中耕太郎
港湾	湊原海岸 海岸災害復旧工事	(株)中筋組	岡 学
砂防	三田谷地区 急傾斜地崩壊対策工事	(有)ワイテイ技研	山田 英市
都市計画	今市川跡線 都市計画街路事業(交A) 電線共同溝整備工事(その2)	大福工業(株)	荒川 定男
	浜山公園 都市公園事業 植栽工事	出雲土建(株)	長廻 慶
	大社日御碕線 大社町公共下水道 浜山雨水渠整備工事(第4工区)	(株)中筋組	堀江 修二

“年男”の抱負 酉年



(株)御船組
高橋 理旦



私は今年満60歳となり目出度く還暦を迎える歳となりました。歳月の歩みは古来から“光陰矢の如し”と申しますが、今更ながら時の流れの速さに驚きを感じずる今日でございます。この60年を振り返りますと、私達を取巻く社会情勢は目まぐるしく変化し、まさに感動の時代でありましたが、無事健康で今日を迎えることが出来たことが率直な実感で、感謝したい気持ちでございます。

私は5人兄弟の次男として戦時中の昭和20年7月3日に出生し、1ヶ月後の昭和20年8月15日が終戦日です。父は戦場で任務に励み、終戦期の試練・混迷のさなか、私達5人の兄弟を育てあげてくれました。私も健康で日々を送ることが父母に対する恩返しかと思ひ、好きな酒の量も減らし、年1回は人間ドックへ、そして毎朝夕には柴犬の太郎3歳に連れられ散歩し、健康管理に努めております。まだ若者のつもりでおりますが、今年の干支酉（鶏・ニワトリ）のようにキョロキョロしないで、食事もゆっくりと噛みしめ、残された人生を1分でも1秒でも楽しく送りたいものです。

さて出雲市も3月22日に新出雲市の誕生です。合併に伴い出雲市建設業協会も4月1日より新協会が発足スタートを致します。そして(株)御船組も創業以来55年となり、記念すべき今年でございます。先輩諸氏に対して社員一同心から敬意と感謝の意を捧げたいと思ひます。この55年間皆様方には大変ご愛顧、ご指導をいただき誠にありがとうございます。

我々建設業も長びく不況の中、公共工事等の大幅削減により今日依然として低調で、今後も厳しい経営環境が続く様に思ひます。この厳しい経営環境に立ち向かい、弊社そして会員の皆様の発展を目指して参りたいと思ひます。



“年男”の抱負



昭和開発工業(株)
樋野 武年

新年明けましておめでとうございます。

私は4回目の年男となります。年男の抱負の依頼がありましたので実感が湧きませんが、最近感じていることを述べさせていただきます。

昨年は「激動」の年でありました。全国各地での台風、新潟中越地震、また海外ではスマトラ沖地震による大津波、スポーツ界ではアテネオリンピックでの過去最も多いメダル獲得、またプロ野球界では「楽天」「ソフトバンク」といった新規球団の参入、などなどさまざまな激動の年であったと思ひます。

また、政府が進める三位一体改革の影響で私たち地方、地元への公共事業削減の悪影響が及び、私たち地方で従事する建設業関係者は、依然として厳しい環境の中で仕事に取り組んでいかなければなりません。この厳しい環境の中で戦い続けていくには、守りの姿勢だけではなく、大胆かつ冷静な攻めの姿勢でも戦い続けていく必要があると思ひます。

さて私の生まれた干支は「酉年」です。「酉年」の人は全国で943万人、十二支の中で最も少ない人口で、その大きな原因は終戦を迎えた1945年生まれの人（60歳）がその前後の年と比べて少ないからだそうです。年代別では私は48歳になりますが、36歳、24歳に次いで3番目に多いそうで、なんとなく安心したような気がします。何でこんなことを申し上げるかといいますと、今の日本、これからの日本は、人口減少、少子化問題で大変です。2004年の出生率は過去最小を更新、4年連続で減り、110万人だったそうです。子供を産む世代の人口が減る為、出生は減り続けるといわれております。

少子化の影響で国力が衰退していくのは必定で、人口が減少すれば、それを必要とする社会資本整備を行う必要がなくなります。また利用者不在の施設があればその修繕に費用がかかります。ある事務用品メーカーは、国内での学習機の生産から撤退をしました。また施設関係で言うと動物園、遊園地の閉園が相次ぎ、また自動車メーカーのトヨタでは少子化の行く末、ハンドルを握る高齢者の層が増えると考え「小さな高級車をつくれ」と動き出しています。

こうした少子化、晩婚、定職に就かない若者増、など経済成長に及ぼす問題が山積みされています。これからは親が子を産む環境、子育てが安心してできる環境をより良くする為、官民一体となった努力が必要ではないかと思ひます。

微力ながら私も、今から子供をつくる年ではありませんが、身近なところで、晩婚解消に少しでもお役に立てればと思ひています。

“年男”の抱負



(株)フクダ
橋本 精吾



新年明けましておめでとうございます。

正月と言えばお餅、箱根駅伝、そしてラグビーではないかと思えます。私は高校時代から今もお好きなラグビーをやっていますので、その事と新年にあたって年男としての抱負について書いてみようと思えます。

ラグビーは15人で戦うスポーツです。一人一人それぞれの役割があり、そして仲間全員で協力し合い、時には仲間のミス全員でフォローしながら前へ前へと進んでトライをねらっていきます。前へ行くのですが、ボールは前に投げてはいけません。後ろに投げ、自分の足で前へ進んでいくのです。そして試合中は全力でぶつかり合い、時には踏まれ、小競り合いもありますが、一番の良さはノーサイドの笛がなれば、敵味方なく互いのプレーを認め、仲間になれる事です。試合後はすがすがしい気持ち(やっぱり負けると少し悔しさが残りますが)になり、ストレス解消になります。

私はラグビーと会社組織とは多くの通じる点があると思えます。会社内においても現場においても、各自が決められた役割を全うし、そして全員が意見や技術を持ち寄り、スクラムを組んで現場の竣工、そして会社の利益というトライへ向かって進んでいきます。たとえ失敗があった時でも全員でそれをフォローして立て直し、より良いものを創っていきます。チームが強くなるためには、各自が各自の役割を十分に理解し、確認しあう事だと思えます。ディフェンスの時によくあることですが、誰かがタックルにいくだろうと味方同士で譲りあってしまって、相手に抜かれることがあります。コミュニケーション不足が招いた失敗だと思えます。これも仕事上で実際に経験したことです。「あれは誰かがやってくれるだろう。」と思込み、確認もせずに進めてしまい、後で大変になったことがありました。ラグビーも仕事も、しっかりと話し合いをして、各自の役割と責任を自覚し、同じ目標に向かって確実に前へ進むことが大事なことだと思えます。

私も今年で5年目を迎えますが、初心に戻り、確実な仕事をして、少しずつ前に進んで行こうと思えます。



技士会現場研修視察行状記

(有)梶谷建設
梶谷 隆

平成16年11月5、6日、土木施工管理技士会現場研修視察旅行に参加させていただいた。今回の視察先は東京荒川治水対策工事現場。参加者は各社の現場を担う技術者20名。様々な参加動機ながら、さすがに研修意欲に満ちたいい顔が見て取れる。

羽田から専用バスに乗り、まずは江戸東京博物館へ。おきまりの渋滞で見学時間は小時間ながら、東京の発展の変遷について予習。東京の形成過程が一目で分かるよかったです資料館だ。理解の迅速な一部のメンバーは熱心(欲張り?)にも「ここへきたらはずせない」と甘味処であんみつを賞味、ただでさえ遅れ気味な行程を意に介さぬ旺盛な研修ぶりで早くも遅刻者数名。口ふきふき汗たらたらバスへ馳せ帰れば、工程管理の第一人者達の「遅延は許さない」という鋭い視線に束の間の反省。昼飯は、浅草の昭和50年代風団体客専用風ところてん式レトロな大手土産物屋でなんとか御膳。視察を控えアルコールを口にする者は誰一人いない——安全管理もこれまたりっば(手褒め)!——遅れを取り戻すべく何を食べたか忘れたほど早飯を食ったにもかかわらず、今度はバスが来ない!これには柔和なM局長もイライラから怒髪天を突く?(単なる例えです...)

こうして和気あいあい且つマイペースで最初の視察地・荒川知水資料館に向かえば、館に通じる橋を小走りに国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 沿川再開発事業調整係長 薄井道則氏が出迎えてくださった。国交省工事事務所に隣接する資料館は、隅田川と明治44年～昭和5年にかけて開削された荒川放水路(22km)の分岐する中之島に建てられ、赤水門(旧岩淵水門)・青水門(新岩淵水門)を望める、文字どおり治水の要をなすところに位置する。水源から河口まで、地形から生態系まで、様々な荒川と出会えるコミュニケーション・スペースとしてつくられ、教育や自然との交流の場として機能している。

まずは管理運営の財団職員(素敵なお嬢さん)から、荒川の概略説明・展示説明を拝聴、続いて質問タイム。笑顔のお嬢さんも高度な専門用語飛び交う質問に困惑顔(実は出雲弁が難解だった)。詰め込み講義を受けた後、災害時以外は車両通行止をさせない河川敷の管理道を、監視パトロールカーに先導されたバスで係官から事業概略説明を受けながら、いよいよ下流の工事現場へ向かう。河川敷はサッカー、野球、ゲートボール、自転車練習場、遊歩道等隙なく整備され、緩やかな川面を小船が行き交う。土手上からは折からロケ中の「3年B組金八先生」の中学生の一群が手を振ったりしてくれた。天気も晴朗にして、日ごろハードな技術者諸氏も都会の空気を思いっきり吸ってしばし仕事のことを忘れ...。いやいや、勉強に来ていることをすぐに思い出し、『新田スーパー堤防』『小松川スーパー堤防』『荒川ロックゲート(閘門)』を見学。田舎では見られない大規模かつ特殊で高度な技術レベルに一同ため息ばかり。詳しい内容については書き出すと膨大なページを要するため、誌面の都合上ここでは割愛させていただくとして(事務